

大谷台学区まちづくり推進委員会

委員長 池田 正則

(問合せ先) 084-948-0136 (大谷台交流館)

事業内容

- (1) まちづくり講座 お正月の花 (12月27日)
- (2) 次世代育成事業 夏休み連続子ども講座 (8月2日~5日)
- (3) 夏祭り 夏祭り映画祭 (9月11日)
- (4) ふれあい祭り (10月16日)
- (5) 防災訓練 (11月27日)
- (6) 広報誌発行 (6月~3月)
- (7) 公衆衛生美化事業 公園花壇整備 (6月~3月)
- (8) まちづくり推進委員会運営事業 (4月~3月)
- (9) 健康づくりに取り組む事業 健康ウォーキング (12月3日)
- (10) とんど祭り (1月8日)
- (11) まちづくり交流事業 「近所お助け隊」発足 ピカピカウォーキング (11月5日)



防災訓練



「ふれあい祭り」



成果

今年度は、地域課題である高齢化に向けた事業「近所お助け隊」を発足することができた。

ボランティアの人も集まり、来年度に向けての準備が整った。

ふれあい祭りでは、キッチンカーを依頼するなどコロナ禍に合った取り組みができ、賑わいに花をそえた。その他の事業も中止をすることなく、無事に終えることができた。

課題

コロナ感染対策の規制がなくなりつつある今、来年度の事業展開に向けて住民の皆さんの参加意識を高めていきたい。役員の高齢化を踏まえた行事の内容を検討する。

課題解決にむけて

役員の高齢化を考え、従来行事の見直しや、大がかりな準備は業者に依頼するなど、役員の負担軽減を考えながら、持続可能な行事へと変更していく必要がある。

思いやりの町をめざして「近所お助け隊」発足

2020年度に、社会福祉協議会から「お互い様ミーティング」開催のお話しをいただき、福祉を高める会を中心とした説明会が開かれました。

同じ頃、民生委員さんから、高齢者一人暮らしの庭木伐採依頼の相談もあり、お互い様の助け合い精神に感銘を受けた後でもあり、早々に「やってみよう！」と町内会の有志を募り、伐採をすることになりました。

その話を聞かれた社会福祉協議会の方が伐採参加者にアンケートを取り、まとめた内容を2回目開催の「お互い様ミーティング」で発表をされました。

確実に迎える高齢化に向けて、地域課題は地域の力で！と、自助・公助・共助を実践するべく地域包括支援センターの協力もいただき、福祉を高める会・町内会・まちづくり推進委員会で協議を進め、ボランティアの募集も思いのほか人数が集まり、嬉しい悲鳴の中2022年度まちづくり推進事業の一環として発足することができました。

各作業チームの結成、工具の準備、ユニフォーム作りと準備は万端！2023年度の活動開始を心待ちにしています。

いつまでも住み続けたい町、高齢者にやさしい町をめざして「近所お助け隊」の活躍に、ご期待ください。

高齢者にやさしい町づくり



活気あられる説明会の様子



お揃いのユニフォームでバッチリ！



伐採練習もしました。